

不昧公の子孫からの報告 その3

私には先祖達が、浄土宗僧侶に人質(墓質)に取られているように見えます！

私には死んでからも尚、月照寺墓所の維持管理費用を稼ぐ為に自らが拝観料を稼ぐなければならない、そして、縁も所縁もない月照寺の浄土宗僧侶達に働かされている先祖達の姿、不昧公の姿が墓所の中に(自分の心の中に)見えます。

365日、観光客に自分たちの墓所の中までズカズカと土足で入り込まれても、何も言えないままに！

月照寺は先祖達が眠っている「遺骨」が納められている墓所です。先祖達の墓所には「鳥居」が建てられています。先祖達の墓所は「神域」なのです。

「神域」である墓所は「静寂」であるべきです。先祖達は静寂な墓所の中で子孫達と静かに語り合う事を望んでいるのです。我々子孫も！ 観光客の皆さんも私と同じ気持ちではありませんか？

私は月照寺墓所で未だかつて一度も墓参に必要な、手桶、柄杓を見たことはありません！



月照寺に関する報告書

検索

メールアドレス

hiro.mat@mable.ne.jp